



ほし みや
星宮

家庭・地域と連携した『よく学び・仲よく遊ぶ・元気な学校』

《 学校教育目標 》

自ら ともに

多くを学び (知)

心をみがき (徳)

体をきたえる子 (体)

学校だより第 4号

令和3年7月1日発行

「やる気や耐える力(非認知能力)」も重要

校長 秋元 敏行

日頃より本校の教育活動に対し、御協力・御理解いただき誠にありがとうございます。

以前、「学校」と「塾」についての調査があり、「学力向上」に関しては、塾のほうが優れていると考えている親が多くいました。

では、「学校をなくして塾だけにしたら、どうなると思いますか。」という質問に、「塾が『学校』になる。」とほぼ全員が回答しました。逆に、「塾をなくした場合は、どうなりますか。」の質問は、「何も変わらない」が大半を占めていました。要するに、塾がなくなっても学校には変化がありませんが、学校がなくなったら「塾は今のままではいられず、塾が学校にならなくてはいけない。」ということです。

改めていうことではありませんが、学校と塾では役割が、根本的に違うからです。学校は、教師という指導者とのつながりをもとに、「教室に入ること・自分の席に着くこと・時間割どおりに動くこと・教室を汚さないこと・友達と折り合いをつけること・教科を学ぶこと」などを身に付けます。このことは、子供同士の協調やつながりからも構成されていきます。学校は、このような「知」へ向かう仕組みや生活などが意図的にあります。そして、このような子供たちを「知」へ向わせるためのアプローチをとおして、知恵や知識を学びます。言い換えれば、学校は小さな社会ともいえます。このことについて、民間人から校長になった藤原和博さんは、「学校って、生活指導という部分が絶対に欠かせない。学習に向かう態度みたいなものをきちっとさせたいと、基礎学力も応用力もつかない。」と断言しています。いわゆる非認知能力といわれるものです。この「学習に向かう態度みたいなもの」の育成、つまり、「知恵や知識を学ぶため」には、「人間形成」が必要であり、学習を成立させるためには、生活の確立が必要だということです。この「人間形成」こそが学校と塾の違いではないのでしょうか。星宮小学校でも「生活習慣や学習規律の確立」等に取り組んでいます。このことは、子供たちの「人間形成」のための取組であり、「学力向上」への近道かもしれません。

7月行事予定

1	木	学校重営協議会② 授業参観 懇談会 放課後子供教室 PTA理事会 全学年 16:00 下校
2	金	1-2年 15:00 3-6年 15:50 下校
3	土	まこも馬・七夕飾り作り (公民館主催)
4	日	
5	月	くまなびスクール⑦ 成田小との交流会 (2年生) 1~3年 15:00 4~6年 15:50 下校
6	火	1~3年 15:00 4~6年 15:50 下校
7	水	フッ化物洗口 全学年 15:50 下校
8	木	委員会④ 1-3年 14:55 4-6年 15:45 下校
9	金	読み聞かせ (中) 1-2年 15:00 3-6年 15:50 下校
10	土	
11	日	
12	月	くまなびスクール⑧ 1~3年 15:00 4~6年 15:50 下校
13	火	SC来校(午後) 1~3年 15:00 4~6年 15:50 下校
14	水	フッ化物洗口 英語専科教員学校訪問 全学年 15:50 下校
15	木	クラブ④ 1-3年 14:55 4-6年 15:45 下校
16	金	1-2年 15:00 3-6年 15:50 下校
17	土	
18	日	
19	月	職員事務処理 全学年 11:55 下校 給食なし
20	火	ファーストステージ終了 給食なし 3時間授業 全学年 11:55 下校
21	水	夏季休業日 登校日① 学校開放(英語)① 個別面談① 全学年 11:55 下校
22	木	夏季休業日 海の日
23	金	夏季休業日 スポーツの日
24	土	夏季休業日
25	日	夏季休業日
26	月	夏季休業日 登校日② 学校開放② 個別面談② 全学年 11:55 下校
27	火	夏季休業日 小学校教育課程地区説明会
28	水	夏季休業日 登校日③ 学校開放③ 個別面談③ 全学年 11:55 下校
29	木	夏季休業日
30	金	夏季休業日
31	土	夏レク(星の子夏祭り)

変更になる場合がありますのでご了承ください。

熊谷の子どもたちは、これができます！ アクセルとブレーキ

大人が手本となって

《4つの実践》 ①朝ごはんをしっかり食べる ②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う ④ともだちをたくさんつくる

《3減運動》 ①テレビの時間を減らす ②ゲームの時間を減らす

③スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らす

減らした分、家族の会話・読書の時間・家庭学習の時間を増やしましょう